

ホームステイの受け入れを行なって感じたこと

海外青年：Saskia Luck さん

ホストファミリー：前田 浩寿、珠美、紋奈、恵奈、優衣奈、暁秀

2年前に私がドイツに派遣された時に、私は初めてホームステイを経験しました。ホストファミリーは私と同じような年代のご夫婦に小学生のお子さんが2人おられる4人家族でした。16年ぶりに話さ“なければならぬ”自分の英語が通じるのか否か不安でしたが、皆さんが一生懸命理解しようとして頂き、たくさんの遊びや会話を通して、たった一泊二日でしたが、素晴らしい関係ができ、今でも Facebook で連絡を取り合っています。

今回も海外青年の方を鳥取県が受入れることとなれば是非、ホストファミリーに手助けをしようと思っていました。今回その機会が到来し、受け入れが決定しました。決定後の我が家は準備で大忙しでした。家の片付け、一緒にどこに行こうか、何を食べてもらうか、何を記念品としてプレゼントしようか、一家総出で準備しました。結果的に、松江城、フォーゲルパーク、出雲大社等を観光して頂きました。一番の思い出になったのは、Saskia Luck さんと一緒に時間をともにしたことでした。私がホームステイをドイツでした時と同じように、互いの文化や個人のことを一生懸命伝えようと話し、理解しようと聴きました。中学校レベルの短い言葉や文章、時には Google 翻訳で単語を調べながらのやりとりでしたが、気持ちは通いあえたように思います。一泊二日でしたが、お別れの空港では、妻も子供たちも別れを惜しみ、分かれ際まで手を振っていた姿は、とても印象的で、このホームステイを受けて良かったと心から思いました。

海外の人との交流を通して得られる経験は私にとっても、また、子供たちにとっても貴重なものでした。

